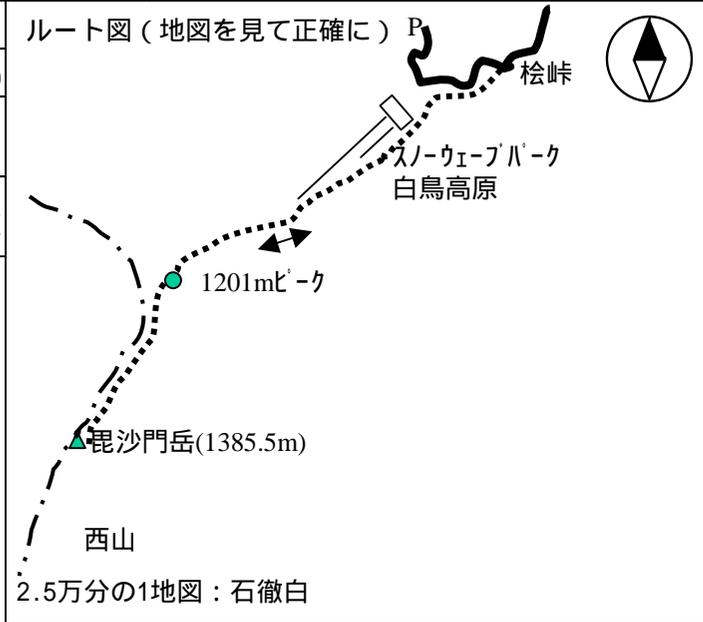


<b>3月</b> <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>		報告者 江頭孝治 報告日 3月8日	参加 メンバー	CL; 亀山 誠、江頭 孝治
山域 奥美濃 山名 毘沙門岳	山行日 06年 3月 4日(土)			

山行目的	雪の毘沙門岳を楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	------------	------------------



3月4日(快晴) 7:00 丸田町P発 10:40 桧峠下P 11:00 スキー場ゲレンデ 発 11:40 スキー場上着 12:40 毘沙門岳(1385m) 14:00 山頂発 14:40 桧峠下P 15:00 中庸スプリング山荘着(全豊田岳連スキー大会宿泊場所)
--

**山行報告**

TV/ラジオが、この時期珍しく土日とも好天と盛んに告げる。これに触発されたと見える老若男女が一齐に観光、温泉、スキー、そして山に繰り出したと見える。東海北陸自動車道もご多分に漏れず、美並ICから郡上八幡ICまでしっかり10kmの渋滞とのこと。目的地である桧峠までの時間距離が遠のくが、ここは先行された藤田部長車、町田先輩に情報を求め、美並ICで一旦高速を降りる策をとる。予報どおりの快晴を頭上に、お楽しみみのラーメン調達も白鳥町で済まし、県道314号桧峠を少し下った道路上に駐車する。桧峠のスキー場アクセス道路までしっかり足で登り返す。スキーの管理の方から登山者はゲレンデを歩かないということでスキー場エリア外を歩く条件で入山のOKをもらう。林道を遠巻きにするのに比べ時間が稼げる、ありがたいことだ。セントハウスを出てすぐリフト左に進路をとる。早々に先輩スノーシュー、江頭ワカンとなる。亀山先輩のペースについて行けない。ピッシュヨになりながらスキー場トップで一本。ここで狙いの毘沙門岳を地図を見て同定、今日の好天に感謝する。スキー場の賑わいを後に、1201mピークまでほとんど水平移動で進んだ。先行者は誰もいないようだ踏み後は全くない。相変わらず先輩に大きく遅れながら、ところどころで待ってもらい、ウサギの足跡、雪庇、シュルンド、クレバス、雪山の自然について説明して戴く。何度か落とし穴に片足をとられながらも毘沙門岳の北尾根に取り付く。1/25kで示されてはいたが、結構な斜面だ。前日の新雪の下に硬く凍った層があり、先輩でさえスノーシューが空回りする場面もあった。こういった局面ではワカンのほうが応用が利くとのこと、なるほどワカンの歯を硬い斜面に打ち付けるようにすると安定するが、それで何度も空回りをしての話であった。最後の登りを終え、山頂僅か手前で先輩に写真を撮って戴いた。山頂では荒島、大日、別山、白山、遠くは北アルプスに迎えられた。早速ビールで乾杯し、最高ラーメンをいただく。後に亀山先輩のありがたい新人歓迎、マラソン下山があるとは知るよしもない。

<リーダー所見>  
 人よし! 山よし! 天候よし!  
 奥美濃の雪山を十分に堪能することができた。



配布先  
 集会: 10  
 山行: 1  
 リーダー  
 原紙: 集会担当者

確認  
(11-7-7)  
  
 作成  
(報告者)